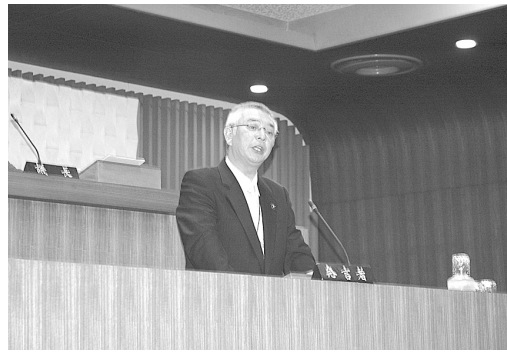


12月定例会 一般会計補正予算などの議案可決

平成22年12月定例会は、12月7日から12月17日までの11日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事1件、平成22年度各会計補正予算など7件、計8件でした。このうち、人事案件1議案については、委員会付託を省略し表決の結果、全会一致で初日に同意しました。各議案については、所管の常任委員会、予算審査特別委員会にそれぞれ付託して審査を行いました。その後定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、表決の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問では10名の議員が質問に立ち、当局の考えを質しました。また、第76号議案が追加提案され、質疑を経て表決の結果、原案のとおり可決して閉会しました。



市長の提案理由説明

審議した議案のおもなものは次のとおりです。
指定管理者の指定について
第69号議案
 指定管理者の指定について（白石市小十郎プラザ）

第70号議案

指定管理者の指定について（白石駅東口駐車場・銚子ヶ森駐車場・白石駅東口自転車駐車場）

平成20年8月にオープンした白石市小十郎プラザと平成20年4月1日から指定管理者制度による管理を行ってきた白石駅東口駐車場等の施設管理を行わせる指定管理者及び、その期間について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

第71号議案

平成22年度白石市一般会計補正予算（第5号）

第76号議案

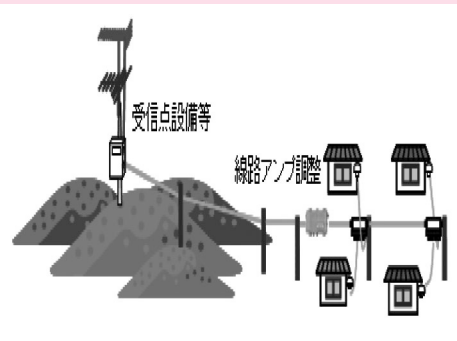
これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1千98万4千円を追加し、予算の総額を140億9千46万円とするものです。
 おもな内容は次のとおりです。
 ○白石市電波遮へい対策事業費補助金 259万円
 ○介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金 4千567万5千円

平成22年度白石市一般会計補正予算（第6号）
 国の補正予算成立に伴い、地方道路整備事業に係る経費を追加するものです。
 これまでの予算に2億610万円を追加し、予算の総額を143億56万円にするものです。



白石市電波遮へい対策事業費補助金とは

山間部等、地理的要因でテレビ放送の受信が困難な地域（新たな難視地区）において、地上デジタル放送を受信するために共聴施設を新設する共聴組合に対して、その費用の一部を補助するものです。



介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金とは

市が作成した高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画及び整備計画に基づき、民間事業者が介護保険法に規定する地域密着型サービス（特別養護老人ホーム（定員29人以下）、認知症高齢者グループホーム等）を提供する施設の整備に必要な経費の一部を宮城県介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業費補助金を活用し補助するものです。今回の補正は、県の補助対象基準の拡充に伴い上乗せ補助をするものです。